

長崎ほしくだより

No. 238
2016.5

発行人 西間 川 義 文
編集者 間 一 瀬 光 徳
購読料 部 55円

発行：一般社団法人 長崎県保育協会 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター 3F TEL.095-846-8871



EVERY BUDDY STRIDER

ディレクター、^{もりかみ} 指導員 守上 ^{たいすけ} 大輔

【プロフィール】
1984年 12月21日生まれ 熊本県出身
2002/バイクトリアル世界選手権全戦参戦
2006/バイクトリアル全日本選手権大会2位
2007~2009年マッスルミュージカル出演
SASUKE毎回出演

きっかけ

小学生のときに連れて行ってもらった自転車競技の大会で一人の男に憧れて始めたバイクトリアル。この競技のルールは、岩場や斜面などの自然地形を利用した障害物をいかに足をつかずに走破できるかという競技です。その憧れの男とは、全日本選手権を8年連覇、そして世界チャンピオンにもなり、競技を退いたあとにエンターテインメントの世界に飛び込みマッスルミュージカルや、シルク・ドゥ・ソレイユなどで活躍した「有蘭啓剛」です。僕はかつて彼の後を追いかけてきました。そして、有蘭が競技時代からずっと疑問に思っていたこと「なぜ自転車教室がないのか」ということに僕も意気投じて、4年前に始めたのが幼児体育プログラム「Every Buddy Strider」です。

自分の足で支え、常に前後左右のバランスを保持することでスムーズに走らせることができ、「バランス感覚」を身に着けながら「体幹」や「足腰」の発達に効果が期待できる乗り物です。最近、このストライダーが子ども達に大人気で、公園などで乗っている子どもをよく見かけます。メディアでも話題になったストライダーの世界最年少レースで子ども達が競い合うなど、家族のコミュニケーションのアイテムとしても注目を集めている乗り物です。

ストライダーとは

ストライダーを知っていますか？
このストライダーとは、自転車のような形をしていて、ペダルやブレーキがついておらず、自分の脚で地面を蹴って「進み自分の脚で止まる二輪車です。」

子どもの足で支え、常に前後左右のバランスを保持することでスムーズに走らせることができ、「バランス感覚」を身に着けながら「体幹」や「足腰」の発達に効果が期待できる乗り物です。最近、このストライダーが子ども達に大人気で、公園などで乗っている子どもをよく見かけます。メディアでも話題になったストライダーの世界最年少レースで子ども達が競い合うなど、家族のコミュニケーションのアイテムとしても注目を集めている乗り物です。

子どもの経験を大切に

現在、このストライダーを使って保育園、幼稚園にて、乗り方や交通ルール、マナーなどの指導で全国を回らせていただいています。まだまだ認知度も低く、こちらから積極的に実施させていただけないかといううアプローチをさせていただいていますが「もし怪我したら…」などという理由で断られることも少なくありません。確かに大切な子ども達に怪我をさせてしまつたら大変なことですが、せっかく子ども達が学べるチャンスを「危ない」という言葉で止めている気がします。

「掃除」愛着心

いろいろな幼稚園、保育園にお邪魔したときに毎回こんな質問をします。「自転車のお掃除をしたことがありますか？」するとほとんどの子どもが「ない」と答えます。
プロ野球選手のイチロー選手は毎試合後必ずグラブ、バット、シューズなどを磨くそうです。このことについてイチロー選手は「ものを大切にすることは野球がうまくならない気持ちに通じる」「手入れしたグラブで練習したことは体に残ります」と言っていました。



僕自身も自転車は練習後に必ず掃除して、次回乗るための為にメンテナンスをします。メンテナンスをしないと、乗り心地が悪くなり、大怪我することもあります。これは普段から皆さんが乗られている自転車でも同じことが言えます。空気が少ないまま乗っていたり、ブレーキのきかない自転車に乗っているととても危険で事故につながります。
駅前で放置自転車が目立ちますが「持っていないけれど、1万円出せば新しい自転車が手に入る」というまるで使い捨て傘のような感覚もあるのではないのでしょうか。
掃除をすることによって「愛着」を持つことで長く乗ることもでき、きつと放置自転車だつてなくなるといいます。便利なこの世の中だからこそ「使い捨て」ではなく、ものを大切にすることが必要なのではないかと思えます。
最後に保護者や、保育士の皆さん、これから子ども達が自転車に乗り始める頃だと思います。一人でも乗れるようになった今必要なことは「安全」です。交通死亡事故の3人に2人は頭を打って亡くなりました。最低限、必ずヘルメットの着用、公道を走る際は必ず保護者が付き添うなど、大切なお子さんの命を守る為に、事故を未然に防ぐことをしっかりと意識して頂きたいと思えます。



私には2歳になる息子がいます。最近はいろんなことに興味があるようです。親の思い通りにはいきません。それは何故なのか？という成長段階からですね。子どもは、発達段階で色々な姿を見せます。初めて目にするものや、楽しいことがたくさんあるのに、興味を示さないこの方が心配です。私は、子どもが体験を通して育つ時期に、心躍らせながら目を輝かせてたくさん遊んで育つて欲しいと思っています。▼先日、私は福岡に行きました。長崎では車移動が多いのですが、天神まで行くのと、地下鉄にバス、JR移動の方が早くて便利です。ふと車内を目を向けると十数人すべての人がスマホを操作していました。私から見ると異様な光景です。友達同士の会話の前にも携帯、遠くを見方をすると、携帯に操られているようにも見えます。ニュースを見ている人もいれば、ゲームをしている人もいます。また、ラインでメールと忙しそうです。情報化社会の現代だからこそ景色に目を向け、心を落ち着かせ、会話を楽しむなど、季節の移り変わりや気持ちも大切にしていきたいものです。▼長崎市内では、10月に「おくんち」を控えて、6月になると、いよいよ「小屋入り」本番に向けて長崎人は期待が膨らみます。今年は、長崎市止町が踊り町で、初めて担ぎ物を奉納します。伝統を継承することで先人に学び、祖先が生き抜いたことで私がいかに命のバトンを受け継ぎ、しっかりと次世代に繋げていきたいと思っています。(M・S)

長崎ほいくだより

購読料 一部 55円

発行：社団法人 長崎県保育協会 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター 3F TEL.095-846-8871

続きは、お買い求めいただきご購読下さい。
お問い合わせは、保育所(園)または長崎県保育協会までお願い致します。

2ページ目以降の内容をご紹介します

■ つれづれ

園長先生等のリレー式コラムです。保育に対する思いや考えなどを文章にしています。

■ 保育のひろば

● 地域との交流

各保育園の近隣の交流状況など画像を添えて紹介します。

● ランチタイム

給食やおやつ、食育等の取り組みを情報提供致します。

● 保育園めぐり

県下の保育園を地区別に順番で紹介しています。

■ すこやかなそだち

保育の専門家が、プロの視点で子育てに関する様々なテーマに基づいて書き下ろす連載コーナーです。

■ 読者のひろば

子育ての思いやエピソードなど地区別の保護者に書いていただくコーナーです。

■ であい

保育士に保育に対する質問を投げかけそれに答えるコーナーです。

■ ZOO夢イン 家族のお出かけスポット情報

編集部一押しの地元のお出かけ情報です。家族向きのお出かけに参考になります。

■ つぶやき

■ わんぱく写真館

子ども達の日頃の保育園における活発な活動の写真を掲載しています。

■ え?!絵本

子ども向けのおすすめ絵本です。わかりやすく解説しています。